

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		2-2-3		事業名	ベンチャー支援事業
担 当	経済局産業振興部新産業担当課金融・創業支援担当課 伊藤 Tel 211-2356				
全 体 計 画					
事業内容	○ベンチャー支援事業 優れたビジネスモデルや大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図るベンチャー企業を創出・育成していくために、市内において経営等の専門的なノウハウを十分有し、札幌の新産業創出に熱意のある民間の企業支援者等をメンバーとした支援協議会を組織し、起業家の円滑な創業・新事業展開を支援する。また、ベンチャー支援事業の卒業生間のネットワーク構築などフォローアップ事業も行う。 ○スキルエンジェル制度の活用・人材発掘業務 札幌のバイオを中心としたベンチャー企業の特徴として、素晴らしい素材、研究者を有するものの、経営力のある人材がいないこと、販路・マーケティング能力に欠けることなどの課題を抱えている企業が多い。ベンチャー支援事業と並行し、様々なステージにおける人的支援を充実させることで、その課題の解決を図る。本市単独事業ではなく、北海道経済産業局の登録人材も利活用する。		<年度別の事業内容>		
			○平成19年度 新規案件3件、継続案件4件に対して、経営支援を行った。 ○平成20年度～平成22年度 引き続き年間6件程度(新規案件3件、継続案件3件)を目安に、支援を継続する。		
事業内容 量 場 所 模 件 数 等	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）		
	○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件4件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・環境に優しく、かつ効率的な融雪システムサービスを提供するエコ融雪リモコンシステム事業。 ・北海道の良質な商品を、独自の販促方法により道外の消費者に販売する通販モデル事業。 ・特別仕様の厨房車にて、本格的な西洋料理を提供するケータリングサービス事業。 ・IT・医療等の分野で活用されるクリーンルームについて、さらに極限まで高洗浄化された商品を提供する事業。 ・主に地域中小企業を対象に、インターネットを通じて新たな商流を開拓するインターネットマーケティング事業。 ・主婦ネットワークによる、北海道食材を使った加工品の企画開発・販売事業。 ・北海道大学発の技術「高強度ゲル」の実用化と、その応用開発事業		○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・ミクロ領域での科学状態、電気特性が観察・測定できるケミカル顕微鏡の操作ソフトを開発・販売 ・高級使用に改造した貸切マイクロバスでの道内観光サービス ・液中プラズマ放電の手法を用いて高品質な合金等ナノボールを開発・事業化 ・環境に優しく、かつ効率的な融雪システムサービスを提供するエコ融雪リモコンシステム事業 ・北海道の良質な商品を、独自の販促方法により道外の消費者に販売する通販モデル事業 ・特別仕様の厨房車にて、本格的な西洋料理を提供するケータリングサービス事業 ○スキルエンジェル制度の活用・人材発掘業務 ベンチャー企業の活動を支援するため、北海道経済産業局の登録人材等の経営支援人材を活用し、本事業や企業連携構築事業さらには他機関の事業を効果的に実施した。		
	平成21年度事業内容（決算）		平成22年度事業内容（決算）		
	○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、起業家・ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 ・糖鎖構造プロファイリング技術の開発、製造、販売及び輸入 ・老化関連疾患に対する医療用シーズプロデュース事業 ・マルキタブランドの強化による道内一次産品の高付加価値化 ・ミクロ領域での科学状態、電気特性が観察・測定できるケミカル顕微鏡の操作ソフトを開発・販売 ・高級使用に改造した貸切マイクロバスでの道内観光サービス ・液中プラズマ放電の手法を用いて高品質な合金等ナノボールを開発・事業化		○ベンチャー支援事業 新規案件3件、継続案件3件につき、新技術・新商品や大学・研究機関等の優れた研究成果の事業化を図る個人・ベンチャー企業を創出・育成していくために、ベンチャー企業の円滑な創業・事業展開を支援した。具体的には下記のとおり。 (新規案件) ・バイオ用途を目指した新規蛍光色素の開発 ・アウレオバシジウム培養液を素材とする家畜用混合飼料の開発 ・タイバーシティプロジェクト障がい者の継続雇用支援事業 (継続案件) ・糖鎖構造プロファイリング技術の開発、製造、販売及び輸入 ・老化関連疾患に対する医療用シーズプロデュース事業 ・マルキタブランドの強化による道内一次産品の高付加価値化		

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-3		事業名	ベンチャー支援事業			
達成目標の状況							
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)
支援対象件数(累計)			16件	19件	22件	25件	28件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■市民との連携、市民参加 有識者で構成する支援メンバーによる意見を踏まえてベンチャー支援事業の支援対象者を選定・実施している。 ■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力]企業等の有識者で構成する支援メンバーより企業選定・支援について連携をとっている [情報協力]大学・関係団体より有望なベンチャー企業・個人について情報提供をうけている [その他の協力](該当なし) ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 個別に大学・関係機関に情報を提供し、公募により支援対象者を広く呼びかけることにより、企業がより参加しやすい環境を作っている。							
評 価 (成 果)				課 題			
本市で芽を出しつつある有望なベンチャー企業に対して、経営戦略や販売戦略の策定などの経営ノウハウ等を提供することにより、円滑な起業・事業を展開させるなど、その成長を促すことが出来た。具体的には、経営等の専門的なノウハウを十分有し、本市の新産業創出に熱意のある民間の企業支援者を通じて、事業化に向けた研究開発体制の構築や、知的財産等の整理、展示会出展やマスコミを使用した効果的なPR等を実施した。また、支援終了企業を含めたネットワーク交流会を開催することにより、企業間連携の構築を図ることができた。				本事業は創業時点もしくは起業間もない期間に円滑な起業・事業展開が図れるよう支援するものであるが、企業が成長していく中では、その後の資金調達、ネットワーク構築や販路といった問題が多く存在する。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
成長可能なベンチャー企業を多く育てていくため、さらに多くのベンチャー企業に支援を実施していくとともに、事業終了後も支援終了企業間のネットワークを有効に活用しつつ、これまで培ってきた本市の経営支援人材ネットワークや他の支援制度等も活用しながら、フォローアップを行っていく。							

